飲酒運転撲滅宣言企業

三球電機株式会社　福岡支店



願いは一つ！　飲酒運転ゼロ社会の実現！

企業紹介

三球電機株式会社は、「社会貢献」を経営理念として、技術力・対応力をもとに、快適でより良い社会を目指す総合電気通信工事会社です。
業務内容は、交通信号機、道路情報板等の交通情報設備や大型電気設備、通信設備、消防設備等の調査・設計・施工・保守、電子機器の開発・設計・製作・販売に至るまで一貫したサービスを提供しています。

HPはこちら



飲酒運転撲滅に向けた取組

01　飲酒運転撲滅推進計画の策定
飲酒運転撲滅推進計画を策定し、飲酒運転撲滅に向けた取組を推進しています。

02　管理体制の整備
上記計画で、
①出社、退社時にアルコール検知器による呼気検査
②飲酒運転は絶対しない誓約書の提出
③社内での飲酒禁止
④運転業務前後のアルコール検査等の管理体制
を構築しています。

受付カウンター



03　従業員等への広報啓発活動
◆自社で作成した啓発ポスターを事務所、車庫等に掲示し、
日ごろから従業員に対する啓発活動を行っています。
また、車両の後部ドアに自社作成の啓発ステッカーを貼付し、
作業道具等の出入時に必ず目に留まらせ、意識の高揚を図っています。
◆来店者及び従業員の「飲酒運転撲滅意識」の高揚を図るため、
玄関にポスター、駐車場にのぼり旗を掲示すると共に、
受付カウンター上に飲酒運転撲滅スタンド、啓発資料（チラシ、ステッカー）を配置しています。
◆従業員の家族宛てに「飲酒運転を絶対しないための書簡（暑中見舞い）」を
支店長名で発出し、家族ぐるみによる啓発活動を行っています。
◆毎月25日を飲酒運転撲滅の日と定め、朝礼において従業員に対する
飲酒運転防止の呼びかけを行っています。
◆歓送迎会や忘年会などの酒宴の席では、
冒頭で必ず飲酒運転の絶対禁止を呼びかけ、ハンドル・キーパーを設定しています。

04　従業員等が業務上飲酒運転を防止するための取組
◆「飲酒運転は、絶対にしない」旨の誓約書を提出させ、啓蒙を広げています。
また、全従業員にアルコール検知器を支給のうえ、車両の運転前後に呼気検査を行い、
運転手以外の者に確認させるシステムを構築し、
資料化（運転日誌の「アルコールチェック欄」に記載）しています。
◆従業員の飲酒状況を把握し（健康診断結果を基に安全衛生管理者と連携）、
指導の必要がある者に対しては、アルコールに関する指導（医療機関の受診など）を
受診させるようにしています。　※　現時点で対象者職員なし

05 従業員に対する社内研修の実施

年に数回、従業員を対象に「飲酒運転の罰則、結果の重大性」、
アルコールが醒める時間等の「飲酒に関する知識」などについて研修会を実施しています。

06 その他の取組

従業員全員の運転適性検査（OD式安全性テスト企業版）を実施し、個人の性格特性、運動機能等を確認して飲酒運転に繋がる要因（教唆、幇助を含む）の把握、抑止等に役立てています。

自社作成ポスター①



自社作成ポスター②



自社作成ポスター③・④



三球電機電機株式会社福岡支店様にインタビューしました！

福岡県

飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

福岡県は、過去に海の中道大橋や糟屋郡での痛ましい飲酒運転による交通事故によって、尊い命が奪われた歴史があります。
福岡県民である我々は、この事故を契機に「あの悲劇を二度と繰り返してはならない」という決意の基、飲酒運転撲滅への取組を活性化させ、現在に至っています。

福岡県

飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、
従業員に意識の変化はありましたか？

飲酒運転撲滅の日などの各種取組期を通じて、
従業員一人一人が「飲酒運転は撲滅しなければならない、
自分自身がまず手本を」という意識が高まりました。
具体的には、「翌日に影響する飲酒をしない」、「アルコール分解時間を考えて適度な飲酒を行う」等、個々が飲酒運転の撲滅のための自主的な取組を実践するようになりました。

福岡県

飲酒運転撲滅に向けたメッセージや
今後取り組んでいきたいことをお聞かせください！

飲酒運転撲滅のための活動は、一時的なものでは無く、
飲酒運転が「ゼロ」になるまで継続的に行っていくことが必要です。
そのためには、我々事業者だけの努力では成し遂げられず、
県民の皆様と共に「飲酒運転を撲滅させる」という
強い決意を持った活動を継続していかなければなりません。
併せて、「誰かを思う気持ち」を持てば、
「飲酒運転ゼロ」が実現できると信じています。
私たちは、今後も継続した「飲酒運転撲滅活動」を推進してまいります。